

印刷とITの有効利用を考えるアイデア情報誌

No.39

NOVEMBER 2004

アイデアウイルス

Idea Virus

IDEA VIRUS

Contents

商売繁盛の秘訣

これを知ればPOPの効果が上がる
お客が商品の向こうに求めるモノ

p.1

実力店の突撃取材

「単品一番化戦略」と「体験型POP」で、
25坪の小型店ながら年商1億円と健闘
ハッピー薬店（大阪府堺市）

p.3

注目企業のキーポイント

中小企業には「やっていい競争」と
「やってはいけない競争」がある
—樹研工業株式会社（愛知県豊橋市）—

p.5

主婦マーケティング

売場と主婦の恋愛関係《シリーズ第九回》
消費現場の95%に主婦がいる！
主婦の間で広がるセキュリティへの関心

p.7

売場と主婦の恋愛関係

主婦マーケティングとは市場(女)と企業(男)のロマンである。このコーナーでは、毎回当社が集めた主婦データをもとに様々な消費者のシーンや生活者のホンネを読み取り、売場と主婦の恋愛関係を探る。

《シリーズ 第九回》

消費現場の95%に主婦がいる！ 主婦の間で広がるセキュリティへの関心

主婦データ

- 物件名:ホームセキュリティについて
- サンプル数:310名
- 実施期間:2004.2.2~2004.2.3

かつて日本は先進国中で最も安全な国と呼ばれていたが、今は犯罪が増加し、どこの家庭でも不安が高まっている。今回は、主婦のセキュリティに対する関心や対策状況を調べてみた。

ホームセキュリティの実態とニーズ

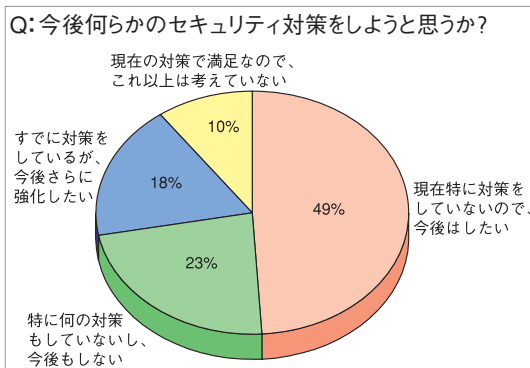
全国の主婦に「ホームセキュリティについて」のアンケートを実施した。

自宅に何らかのセキュリティ対策をしているかを聞いたところ、「特に何の対策もしていない」が63%と一番多かったものの、「入居当時には何もなかったので、セキュリティ対策をした」が25%、「セキュリティ対策完備の住宅を購入(賃貸)、入居した」が9%、「セキュリティ対策を完備した住宅に入居後、さらにセキュリティ対策を強化した」が3%と、37%の人が何らかの形で対策をしている結果となった。

ピッキングやストーカーなど、連日のニュースで物騒な事件が伝えられ、こうした事件が決して人ごとではない、と主婦たちは感じている。

「今後、何らかのセキュリティ対策をしようと思いますか」の問いに、「現在の対策で満足なので、これ以上は考えていない」が10%、「特に何の対策もしていないし、今後も対策はしない」が23%、「現在とくに対策をしていないので、今後はセキュリティ対策をしたい」が49%、「すでに対策をしているが、今後さらに対策を強化したい」が18%となった。

関心度(不安度)の割に、まだまだセキュリティの導入は遅れていると言える。



どんなセキュリティ対策に関心か?

具体的にどんなセキュリティ対策をしているのか、またはどんな対策をしたいか、を聞いてみた。

結果は「玄関ドアのピッキング対策等、鍵の取替え-149件」「窓・ドア用の補助鍵をつける-138件」「外灯・赤外線センサー・タイマー等の照明の取付け-71件」「防犯設備/警備会社のダミーステッカー-58件」「窓ガラスに防犯フィルムを貼る-57件」「窓に防犯サッシ・シャッター・柵など取付け-43件」「警備会社通報システム侵入警報機取付け-29件」「監視カメラの設置-28件」となった。

セキュリティ対策は万全にしたい。でも、毎月の家計を考えれば「現実的にいくら払えるのか」を抜きにしては導入に至らないのだ。だからそれがダミー(気休め)であっても、手頃な価格のセキュリティから徐々に本格的な導入というのが本音だろう。

《主婦の自由記入から》

Q: もっと具体的にどんなセキュリティを導入した、または導入したいと思いますか?

- ◆とりあえず窓に防犯アラームを設置。(中略)ダミー監視カメラはあまり効果がなさそうだと家族から反対された。次に購入を考えているのは気配がするとセンサーでパッと明るくなるもの。でもやっぱり大型犬を飼うのが一番か。
- ◆外から見えない位置にある窓はとにかく補助鍵をつけ、台になるような物、影を作る物を置かない。
- ◆玄関のピッキングが一番気になるので、それから。
- ◆いろいろしたいのですが、金銭的に無理なので、まずは防犯フィルムなどからかなと思います。
- ◆赤外線センサーを取り付けたいが、賃貸のため管理会社や大家さんの同意が得られず困っている。
- ◆ダミーステッカーやダミー監視カメラを通販でチェックしているので、それらを買おうと思っている。

事件に遭ってしまった家庭の数は?

主婦たちに自宅で、過去、不正侵入、未遂などの怖い思いをした、などの経験があるかどうかを聞いて

みたところ、「ある－19%」「ない－81%」。事件になったケースも含め、約2割の主婦が実際に怖い思いを経験している。怖い思いをした主婦たちは当然、隣近所の主婦友だちやインターネットのメル友にも、「怖かったわあ」と話さないわけにはいかない。今や主婦同士の怖い怖い、物騒なんだの口コミは全国的な勢いで広まっているのだ。

《主婦の自由記入から》

Q: 具体的にどのような怖いことがありましたか？

- ◆ 通帳や現金を盗まれた。
- ◆ 男の人が家の周囲を一周し、鍵が開いていないので二階に上ってきて、屋根を一周していったことがある。被害はなかった。
- ◆ マンションの玄関にチカンが侵入していたという回覧が回ってきて怖かった。
- ◆ 雨が降りそうだったので軒下に洗濯物を干しておいたら、それが目隠しとなり窓ガラスを割られて侵入された。集合住宅だと安易に考えていた。
- ◆ 実際に被害に遭っている訳ではないのですが、ペランダを囲っている柵の手すりの所にスニーカーの様な足跡があったときは気持ち悪かったです。
- ◆ 実家にいた頃、白昼二階の窓から不審者が入ってきた。一階に私がいたのだが、不審者は階段を下りてきてその足が見えた。私は叫びながら外に出た。その声で、不審者は二階から出ていった。
- ◆ 以前住んでいた家だが、玄関脇の空気孔の柵を外から開けている人が居た。主人が捕まえた。(のぞきが目的だったらしい)

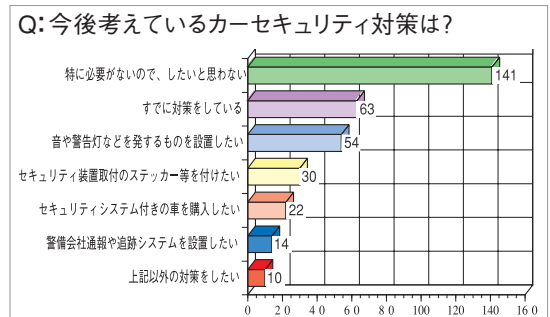
カーセキュリティに対する関心度

自宅で所有している乗用車のカーセキュリティ(盗難・いたづら防止など)対策について、具体的な内容を主婦に聞いてみたが、住宅に比べると関心度はずっと低かった。

乗用車のセキュリティをすでに導入している人に、どんなセキュリティ対策を講じているかを尋ねてところ、具体的な内容は「音や警告灯などを発するものが付いている－20件」「自動車メーカーそれぞれで独自のセキュリティシステムがついてる－18件」「セキュリティ装置取付のダミーやステッカーを付けている－17件」「警備会社通報や追跡システムがついている－0件」の結果となった。

さらに、カーセキュリティー対策をしていないと回答した主婦に、今後どんな対策をしたいと思うか聞いたところ、「音や警告灯などを発するものを設置したい－54件」「セキュリティー装置取付のダミーやステ

ッカーを付けたい－30件」「自動車メーカーそれぞれで独自のセキュリティーシステムがついている車を購入したい－22件」「警備会社通報や追跡システムを設置したい－14件」の結果となった。



セキュリティ商品についての主婦の声

最後に、最近市場に出回っているセキュリティ商品やセキュリティサービスに関してを聞いてみた。

《主婦の自由記入から》

- ◆ 自動車の警告音は誤作動が多いのか、家の近くでもしょっちゅう警告音が鳴っている。音に慣れてしまってなんとも思わなくなってしまい、あまり防犯効果があるとは思えない。(カーセキュリティ)
- ◆ テレビなどで紹介されるとそれはセキュリティでなくなると思う。(セキュリティ全般)
- ◆ セキュリティは予算が高いというイメージがある。低予算で対策できる商品がもっとあってもいいのではないのでしょうか？(セキュリティ全般)
- ◆ 財産はないのでセキュリティの必要はないと思うが、怖い思いはしたくない。(セキュリティ全般)
- ◆ ホーム・セキュリティを設置するお宅に空き巣が入った。知らせが入り家の人が帰宅したが、警備会社の人はまだ駆けつけてなかった。駆けつけるのが遅ければ意味がない。(ホームセキュリティ) **▼**

《まとめ》

- ◎ 主婦のセキュリティ対策へのニーズは高いが、何を選んだらいいかがわからず困っている。
- ◎ このセキュリティ商品(サービス)はダメ、という口コミはよく広まる。クレームやアフターケアが必要。
- ◎ セキュリティ商品(サービス)は高くても効果が万全ではない、というイメージの払拭が課題。

香川 いくみ

(株式会社CBTカプトブレントラスト 代表取締役社長)

参照サイト

データ引用: 主婦データワークショップ
<http://soho-bank.ne.jp/workshop/>
 (株)CBTカプトブレントラスト
<http://www.caput.co.jp/>